

大震災・復興ニュース（第64報）

平成24年7月5日
 仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況（国及び県全体の動き）

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

- 1 測定年月日 平成24年6月20日～7月3日
- 2 測定分析機関 宮城県，いであ(株)，(株)総合水研究所，(公財)海洋生物環境研究所，
 (一財)九州環境管理協会，(財)日本分析センター，(財)日本食品分析センター
- 3 測定及び対応結果

亘理町吉田浜沖のクロダイで基準値を超える放射性セシウムが検出されました。これについては、6月28日付けで国から金華山以南海域についての出荷制限指示が出されています。

また、仙台市太白区のイワナで基準値を超える放射性セシウムが検出されました。これについては5月14日付けで国から出荷制限指示が出されています。

水産物（漁獲日 平成24年6月25日～6月28日）

（単位：ベクレル/kg）

種別	漁獲場所	放射性セシウム	種別	漁獲場所	放射性セシウム
マダラ	南三陸町歌津沖	不検出	アユ	栗原市（一迫川）	43
マダラ	南三陸町歌津沖	7	アユ	加美町（鳴瀬川）	15
マアナゴ	大須沖	1.9	ブリ	三陸南部沖	5.5
アイナメ	女川湾沖	2.6	スルメイカ	三陸南部沖	不検出
ヒラメ	大須沖	23	マダラ	金華山沖	9.5
シロハマグイ	南三陸町沖	不検出	イシガレイ	名取関上沖	48
ミスダコ	南三陸町沖	不検出	キアソウ	名取関上沖	16
ヒラメ	大須沖	5.8	ババガレイ	名取関上沖	5.8
ハウボウ	大須沖	9.4	ブリ	三陸南部沖	不検出
クロダイ	亘理町吉田浜沖	730	マコガレイ	仙台湾	8.7
マコガレイ	仙台湾	11	マアナゴ	松島湾	不検出
スズキ	仙台湾	45	スズキ	東松島市浜市沖	90
ヒラメ	仙台湾	55	マツダイ	東松島市浜市沖	不検出
ゴマサバ	金華山沖	不検出	クロダイ	東松島市浜市沖	27
ヒラメ	金華山沖	27	ヒラメ	東松島市浜市沖	23
ヒラメ	仙台湾	22	シロハマグイ	東松島市浜市沖	不検出
マコガレイ	仙台湾	5.2	アイナメ	吉田浜沖	7.2
アユ	八幡川（南三陸町志津川）	不検出	マダイ	仙台湾	5.4
アユ	広瀬川（仙台市若林区）	14	カツオ	房総沖	不検出
マトジミ	石巻市（北上川）	不検出	ニジマス	川崎町	不検出
イワナ	仙台市太白区（名取川支流穴戸川）	300			

放射性物質値は漁獲日における値を示す。

2 管内の復興に向けた動き

< 水産漁港部からのお知らせ >

7月1日（日）からアユ漁が解禁となっています。管内で解禁している漁協は、鳴瀬吉田川漁業協同組合、広瀬名取川漁業協同組合、白石川漁業協同組合の3漁協です。

<トピックス>

塩竈浦戸のりフェスティバル開催

7月1日(日), 塩竈市の桂島棧橋前の広場において「塩竈浦戸のりフェスティバル」が開催されました。

海苔にちなんだイベントということで, 塩釜の小学生が作詞した「のりのりロック, 海苔は海の贈り物」や「のりのりダンス」の発表披露, のりパンや佃煮, 藻塩海苔などの加工品販売, アサリやアナゴ等を入れた創作のり巻きの廉価提供もありました。

小雨模様でしたが, 参加者が定期船に乗り切れず臨時便が出るほどの盛況でした。

藻塩スイーツ祭り開催

7月1日(日), マリンゲート塩釜において「藻塩スイーツ祭り」が行われました。

市内の菓子店10店舗が参加し, 特設コーナーにて各店の藻塩を用いたスイーツの試食販売に加え, 藻塩作り体験も行われました。

なお, 当日は津波被害を受けたマリンゲートの本格復旧を祝うリニューアルオープンも重なり, 大勢の観光客で賑わいました。

今週末もマグロ解体ショーなどのリニューアルイベントが行われる予定ですので, ぜひ足をお運びください。

災害復旧応援職員の紹介

前任の加賀田からバトンを受けて, 7月から水産振興班に配属となりました「三木」と申します。

宮城県の漁業者ならびに関係者の皆様, はじめまして。うどん県(香川県)から参りました。

私は, 平成11年に香川県の漁業者が, 宮城県気仙沼の鹿折漁協(当時)を視察させて頂いたときに同行し, 宮城県を訪れたことがございます。その際は, 関係者の方々から多くの話を聞かせていただき, 感謝しております。

その鹿折漁協が, 東日本大震災で被災している映像をみて「自分に何かできることはないか」と思っていたところ, 宮城県へ派遣の話をいただき, 今回, 仕事をさせていただくこととなりました。

私は香川県で主に栽培漁業関係を担当しておりまして, 中でも「鯖」に深くかかわってきました。

香川県で鯖は「春告げ魚」とされて重要な漁獲対象ですが, その漁獲は激減して, 一時は危機的な状態となりました。しかし, 平成10年から続けてきた漁業者と関係者の努力が実を結び, 今年は「豊漁」となりました。

宮城県の漁業者ならびに関係者の皆様には, 大変な状況が続いておりますが, 努力を続ければ必ず復興します。皆様の努力にはおよびませんが, 私も微力ながらがんばりますので, 1日でも早く「春」を迎えられるよう, がんばりましょう。よろしくお願ひします。



のりのりダンス



藻塩作り体験



三木勝洋さん